

SNS等を活用した相談の実施の状況と今後の展望

資料2-7

相談種別	こうち高校生LINE相談 前期	こうち高校生LINE相談 後期
相談期間・時間	期間 平成30年8月24日～平成30年10月22日 (60日間) 時間 18:00～22:00 (4時間)	期間 平成30年12月21日～平成31年1月19日 (30日間) 時間 18:00～22:00 (4時間)
対象	公立高等学校生徒及び希望する公立特別支援学校高等部生徒 (13,086人)	
登録人数・登録率	176人 1.34%	234人 1.79% (前期含む)
アクセス件数・対応件数 (対応率)	226件 191件 (84.5%)	74件 67件 (90.5%)
相談者数 ※相談の実人数	111人	29人
1日あたりの相談対応実績	3.2件	2.2件
相談者の性別の人数 (割合)	男性 23人 (12.0%) 女性 135人 (70.7%) 不明 33人 (17.3%) 合計 191人	男性 25人 (37.3%) 女性 36人 (53.7%) 不明 6人 (9.0%) 合計 67人
相談者の学年別の人数 (割合)	1年生 49人 (25.7%) 2年生 67人 (35.1%) 3年生 36人 (18.8%) 不明・その他 39人 (20.4%) 合計 191人	1年生 31人 (46.3%) 2年生 21人 (31.3%) 3年生 4人 (6.0%) 不明・その他 11人 (16.4%) 合計 67人
主な主訴	① 友人関係 18.8% ② 心身の健康・保健 15.7% ③ 恋愛に関する悩み 9.4% ④ いじめ 8.9% ⑤ 家庭環境 6.3% ⑥ 学業・進路 5.8% ⑦ 教職員との関係 2.6% ⑧ 不登校 1.6%	① 恋愛に関する悩み 20.8% ② 友人関係 17.0% ③ 家庭環境 11.9% ④ 心身の健康・保健 11.9% ⑤ 教職員との関係 5.7% ⑥ 学業・進路 4.5% ⑦ いじめ 1.5% ⑧ 不登校 0.0%
傾向	○ 登録者の63.1%が実際に相談を行っており、相談しようとして登録している傾向。 ○ 相談者の性別は女子が約7割、男子が約3割 (他県と同様の傾向) ○ 学年別では2年生が最も多い。 ○ 主訴は、同世代の人間関係 (友人関係、恋愛、いじめ) に関する相談が37.2%、異世代の人間関係 (虐待、教師、家庭) が10.5%と、周りとの人間関係が多い。 ○ 相談の曜日別では、月曜日と水曜日が多い。 ○ 相談の時間帯では、18時から20時までが多い。	○ 登録者数における相談者数の割合は、前期とほぼ同様の傾向であり、登録者は相談しようとして登録している傾向にある。 ○ 相談者の性別は女子が多いが、人間関係、恋愛などについて相談する男子も一定数いる。 ○ 学年別では1年生が最も多い。 ○ 主訴は、前期同様、同世代の人間関係、異世代の人間関係が多い。 ○ 1日あたりの相談件数は、前期より減少している。

〈分析〉

- 相談の主訴は、人間関係や心身の健康・保健など、身近な人に相談しにくい内容が多く、これらの悩みを受け止める相談窓口としてSNS相談は有効であると考え。
- 相談者の性別では、全体的に女子が多いが、時期によっては男子の相談が増えている。これまでの心理分析から、男性は悩みを一人で抱えがちな傾向にあるが、気軽に相談できるSNS相談は一定の効果があるものと思われる。
- 相談者の学年別では、全体的に2年生が多いが、後期には1年生が増加する状況にあった。こうした状況の傾向や要因等について今後分析する必要がある。
- 特に相談が多かったのは、9月3日前後である。長期休業が明けて、学校が始まることへの不安な心境が反映されていることがうかがえる。
- 登録した生徒の半数以上が実際に相談を行っている。また、いたずらやひやかしの相談がないことから、真摯に相談したいと考えている生徒が友だち登録をしているものと思われる。

〈H31年度の展望〉

- 相談対象をこれまでの公立高等学校、特別支援学校高等部の生徒から私立高等学校の生徒に拡大する。
- 長期休業明けを挟む期間に相談が多いことから、相談期間を30日間拡大し、これまでの夏期休業明け、冬期休業明けを挟む期間に加えて、GW明けの相談期間を設ける。